

雪で列車が止まるのはなぜですか？



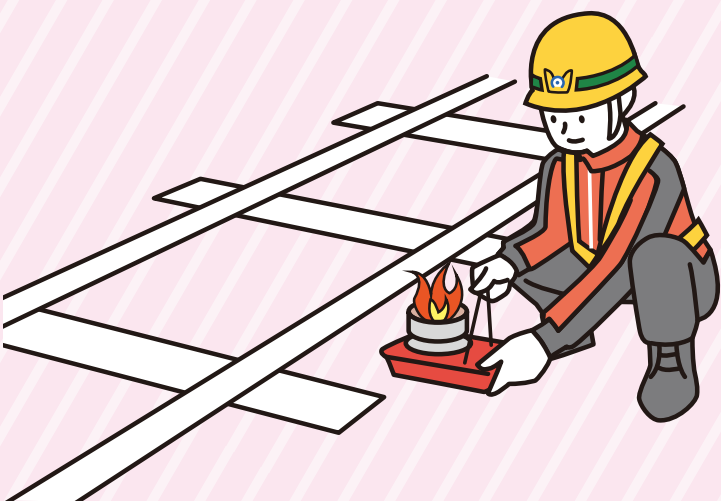
雪が積もること、雪の重みにより倒れた木が線路をふさいでしまったり、列車の行先を振り分けるポイントが動かなくなるなど列車の運行に支障が出るため、運転を取り止めることがあります。



## 雪が降る前のとりくみ



気象予測に基づき、大雪により列車の運行に支障が出ることが予想される場合は、事前に列車の本数を減らしたり、運転を取りやめます。



ポイントに雪が介在したり、雪が降っていなくても気温の低下によりポイントが凍結し、不転換となる可能性があるため、融雪装置を起動します。

## —— 運転再開までの流れ ——



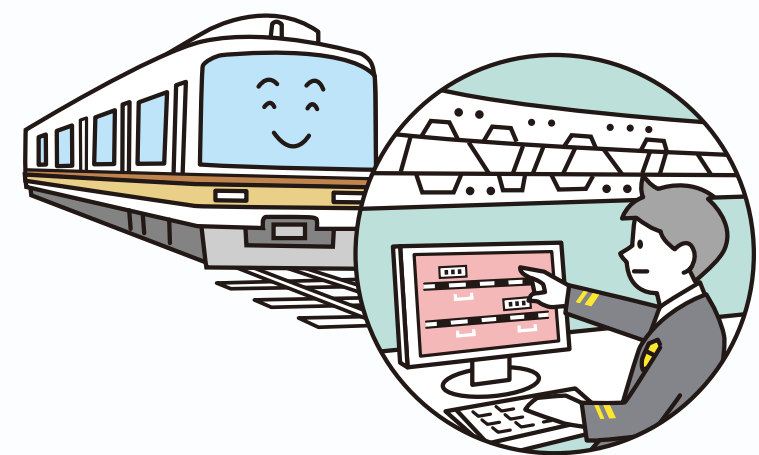
気象状況が悪化し、降雪により列車の運行が困難と判断した場合は、運行を取り止めます。運転を取り止める際は、ホームページ等で事前にお知らせします。



線路、ホーム等の除雪作業を実施します。



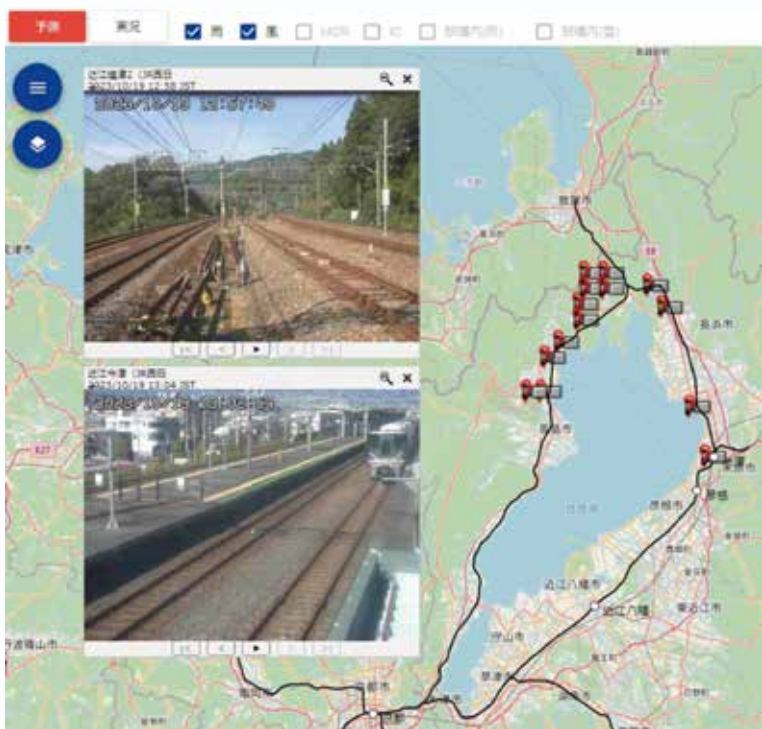
点検を行い、倒木があれば取り除きます。



点検後、異常がなければ運転再開します。

## 大雪への対策

### ●雪が降る前の対策



積雪監視システム

### 積雪監視システム

各箇所カメラを設置し、積雪状況を遠隔で監視しています。

### 電気融雪器(遠隔式)

ヒーターを温めてポイント(分岐器)前後に溜まった雪を溶かし、ポイントの不転換を防止します。降積雪・凍結が見込まれる場合には事前に稼働させています。



電気融雪器(遠隔式)

### ●積雪時の減災対策

積雪時、線路上に積もった雪を排雪するために、排雪列車を走行させます。また、列車に積もった雪が走行中に線路上に落下した場合にバラスト(線路に敷かれている石)が線路脇に飛散する危険性があります。そのため、飛散防止ネットを設置しています。



排雪列車



バラスト飛散防止ネット